



各 位

2023年6月26日

会社名 人・夢・技術グループ株式会社  
代表者 代表取締役社長 永治 泰司  
(コード番号 9248、東証プライム)  
問合せ 常務取締役 塩釜 浩之  
経営企画担当  
(TEL 03-3639-3317)

## 配当政策の変更 及び 配当予想の修正に関するお知らせ

当社は、2023年6月26日開催の取締役会において、下記のとおり配当政策の変更を決議しましたのでお知らせいたします。また、2022年11月14日に公表した2023年9月期の期末配当予想については、今回の配当政策の変更により、下記の通り修正することとしましたので、併せてお知らせいたします。

記

### ● 配当政策の変更について

#### 1. 変更の内容及び理由

当社では、株主に対する利益の還元を経営上重要な施策の一つと位置付け、経営成績に応じた株主に対する利益の還元を、継続的かつ安定的に行うことを基本方針としております。2019年9月6日に現在の配当方針を導入したのに続き、本年5月15日に自己株式取得を決定・公表したのもその一環です。

今般、剰余金の配当につきまして、内部留保の充実に留意しつつ、資本効率を意識し、より一層の着実な株主への利益還元を実現するため、業績連動型の配当性向については25%から35%に引き上げると共に、安定配当型の指標である1株当たり配当額(DPS:Dividend per Share)についても40円から60円に引き上げることといたしました。

2022年11月14日に公表した中期経営計画「持続成長プラン2025(2022年10月～2025年9月)」においては、人的・組織体制強化、および新事業領域拡大やM&Aなどに向けた投資の推進を行うことにより一時的に営業利益は減少する一方、上記変更により、前年度実績に近い水準の配当金額を維持することにより、「今後の成長投資」と「株主還元の強化」の両立を図って参ります。

当社は、今後も東証プライム市場上場企業として、「人が夢を持って暮らせる社会の創造に技術で貢献する」会社であるために、またプライム上場維持基準への適合のためにも、引き続き、株主に対する利益のさらなる還元を積極的に進めて参ります。

(変更前) 1株当たり配当額40円と、配当性向25%に基づく配当額の高い方を目安として、2019年8月22日に公表した「長期経営ビジョン2030」の最終年となる2030年までの間、より安定的な配当を行うことを基本方針といたします。

(変更後) 1株当たり配当額60円と、配当性向35%に基づく配当額の高い方を目安として、2019年8月22日に株式会社長大が公表し、その後、単独株式移転による持株会社体制への移行に伴って当社が踏襲した「長期経営ビジョン2030」の最終年となる2030年までの間、より安定的な配当を行うことを基本方針といたします。  
このように、私達、人・夢・技術グループは、前年度実績に近い水準の配当金額を維持することにより、「今後の成長投資」と「株主還元の強化」の両立を図って参ります。

#### 2. 実施時期:

2023年9月期より適用いたします。

### 3. 参考

直近5年間の配当金総額及び配当性向

	2018年9月期	19年9月期	20年9月期	21年9月期	22年9月期
1株当たり配当額	36円(*1)	53円	58円	72円(*2)	66円
配当性向	29.5%	25.0%	25.1%	26.8%	25.2%

(\*1): 記念配当(東京証券取引所市場第一部銘柄指定記念)5円を含む

(\*2): 記念配当(持株会社体制移行記念)5円を含む

#### ● 配当予想の修正について

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
前回予想 (2022年11月14日発表)	円 銭 —	円 銭 0.00	円 銭 —	円 銭 40.00	円 銭 40.00
今回修正予想	—	0.00	—	60.00	60.00
当期実績	—	0.00	—		
前期実績(2022年9月期)	—	0.00	—	66.00	66.00

修正の理由:

上記の配当政策の変更を反映し、前回公表した配当予想を修正いたします。

なお、本件につきましては、2023年12月22日開催予定の定時株主総会に付議する予定であります。

以 上